



八峰町3月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします

八峰町3月議会定例会が4日から19日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、当初予算、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

感染拡大による影響 新型コロナウイルスへの対応を協議

先の議会全員協議会において、新型コロナウイルスの感染が拡大している首都圏等に住んでいる方を講師にした講演会や、首都圏等への役場職員出張を当面の間、自粛すると申し上げました。その後2月27日に安倍総理大臣から「全国の小・中・高校と特別支援学校を3月2日から休校にする」という方針が示され、八峰町においても対応を協議しました。

その結果、八峰中、八森小、峰浜小学校については、3月2日から3月19日まで休校するとともに、それぞれの卒業式については、卒業生と教職員のみで行うこととしました。

また、八森、沢目、埴川子ども園については、普段どおり開園することとなりましたが、卒園式についてはいずれにおいても規模を縮小し、卒園児とその保護者と教職員のみで行うこととしました。

新型コロナウイルスの国内における感染拡大防止、特に子どもたちの安全を第一に考えた国の強い意志によるものと理解しています。

八峰町消防出初式を開催 今年の無火災を誓う

1月5日、八峰町消防出初め式を開催しました。

式典に先立ち、秋田銀行八森支店前において、消防団員119名とポンプ車など15台による堂々の分列行進が披露されました。

その後、ファガス文化ホールにおいて式典を行い、長年にわたって消防活動に尽力された団員の方々の表彰を行うとともに、全員で今年の無火災を誓いました。まだまだ暖房器具等を使用する季節ですので、消防団や消防署など関係機関と連携し火災予防運動を実施していきます。



町の令和2年産米の生産の目安 生産数量は前年から20.2トン減

県では県産米の価格の安定を図るため、昨年に引き続き令和2年産米においても県段階の「生産の目安」を提示することとし、昨年12月5日、秋田県農業再生協議会臨時総会を開催、県全体の生産の目安を「40万5,000トン」とすることを決定し公表・通知がされました。

この通知を受け、農業再生協議会では、町として算定した「生産の目安」を1月21日に開催された臨時総会で協議し、町全体の生産数量は昨年より20.2トン少ない5,847トンに、面積換算では昨年より38ヘクタール少ない1,023ヘクタールとする目安が決定されました。協議会では、方針作成者ごとの「生産の目安」を算定し、1月28日付けで協議会長名で各方針作成者へ通知したところです。

今後は、「需要に応じた米生産の実施」に向けた取り組みとして、各方針作成者の販売計画数量および事前契約数量の把握に努め、需要の裏付けのない米については、加工用米等の非主食用米へ振り分けるよう指導するなど、米価安定のための取り組みを国や県と連携しながら進めていきます。

また、農業再生協議会では、2月27日に開催した農事班会議で、「生産の目安」の算定方法などについて説明し、園舎の全貌が明らかになったところとす。

また「機械設備工事」については、空調機器の取り付けが終了し、ボイラー関係機器の設置と配管工事を実施しているところとす。

さらに「電気設備工事」については、天井高所箇所への照明器具取り付けと、感知器の取り付けが終了し、天井開口部分と各部屋への照明器具取り付け工事を実施しているところとす。

2月20日現在の工事進捗率は「園舎建築工事」が71.4%、「機械設備工事」が28.9%、「電気設備工事」は25%となっています。

これまで、予定より若干遅れていた工事も暖冬のおかげで順調に推移しており、これから年度末に向け、安全対策に十分配慮し、事故の無いよう業者を指導しながら、統合子ども園の建設工事を進めていきます。



八峰町スポーツ文化栄誉賞 今後さらなる活躍を

今年度の授与式は、2月22日ファガス文化ホールにおいて開催し、町長賞3名、教育委員会賞10名、教育委員会特別賞1名、小中学生奨励賞が7名と1団体、合わせて21個人、1団体を表彰しました。

部門別では、スポーツ部門が10名と1団体で、野球、空手、バドミントン、柔道、ダンスパフォーマンス、文化部門が11名で、アマチュア無線方向探知、吹奏楽、作文、俳句、絵画での活躍が目立ちました。

受賞された小学生から高校生までの児童生徒の皆さんは、日々精進を重ね、八峰町の名前を全国、東北、県内に広く知らしめ、町民の皆様にと元氣を与えてくださいました。

受賞された皆さまには、心からお祝い申し上げますとともに、今後とも研鑽を積み、さらに上を目指していただくことを期待いたします。

峰浜地区統合子ども園建設 工事は順調に推移

「園舎建築工事」については、昨年12月19日に棟上げが完成し、屋根工事が12月23日から行われ1月25日には終了しています。その後、外壁工事が1月17日から始まり2月13日には終了

記録的な暖冬が影響 除雪予算執行率は3割程度

今年度は、シベリア大陸からの寒気団の南下が平年よりも弱く、冬型の気圧配置が長続きしないことで日本列島は記録的な暖冬となりました。八峰町においても、八峰消防署の観測では、真冬日が一日もなく、また降雪量の累計が73センチメートル、最大積雪深が15センチメートルと、根雪になることもなく推移しています。

このように今シーズンには、厳しい寒波が続かない気象状況でありますが、最低気温がマイナスになると見込まれる際には、町道の路面凍結防止剤の散布車輻を巡回させるなど、道路交通の安全確保に努めているところです。

また、降雪や積雪が極めて少なかったことにより、除雪車輻の稼働はほとんどの路線で数日限りとなっており、道幅を広げるための排雪作業は一度も実施されていません。

したがって、2月末までの除雪経費は、除雪機械の備品購入費を除き2千300万円余りの支出に留まり、予算執行率は31.8パーセントとなっています。

3月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町簡易水道事業の設置等に関する条例制定について
- 八峰町簡易水道基金条例を廃止する条例制定について
- 八峰町監査委員条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町特別会計条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町地域活性化住宅設置条例の制定について
- 八峰町地域活性化住宅管理条例の制定について
- 八峰町住宅設置条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 令和元年度一般会計補正予算92万4千円を増額追加した主な歳出
- しいたけ生産施設等整備事業費補助金、産地生産基盤パワープ事業費補助金など
- 令和2年度八峰町一般会計および各特別会計予算

※内訳は2～3ページ参照